乍恐奉書上候

　　　　　　　　　　　　河州丹北郡

　　　　　　　　　　　　　　　城連寺村

一、今般社寺御調ニ付当村安明寺之儀由緒委詳

　　可奉書上旨、被為　仰付承知奉畏候、則左ニ奉申上候

一、当村安明寺儀観世音ハ元来和田楠之守佛ニ御座候

一、往古当所ハ冨田庄ト唱、和田孫三郎正継之住所ニ御座候而

　　家臣城連寺左衛門安明陣屋ニ被指置、同人出家して

　　元中三寅年主人守本尊ヲ一宇建立仕奉安置、同人之

　　名ヲ取、安明寺ト号シ、猶同人姓ヲ取城連寺村ト唱江申候

一、和田孫三郎正継楠家と心ヲ合

　　後醍醐天皇奉守護

　　南朝北朝御和睦ノ上三種之

　　神宝奉納

　　北朝江後世々当村住居仕候、則其後後胤庄屋為治郎ニ

　　御座候、家系も所持仕居候

一、和田孫三郎正継義

　　後醍醐天皇奉守護候、訳合ニ而御位牌其節被奉祭候

　　然ルニ其後凶賊乱入仕火ヲ放チ焼失仕候ニ付、去ル安政四巳年九月

　　京都本願寺家老下間刑部卿ト申仁、古来之通奉奇進

　　被呉申候

一、除地之儀、往古四畝六歩馬場先百拾間御座候処、宝永申元年

　　大和川違之節、被召上其替り当村領内冨田新田ニ而九間ニ

　　拾四間被下置候、然レとも居村ゟ道遠ク候ニ付、居村御年貢地ト

　　引取奉安■候

右之通、昨年四月奉書上候処、追而沙汰可及旨被　仰渡奉畏置候、然ニ

于今御沙汰無御座候ニ付右事之通其侭当時御座候、此段御調ニ付

乍恐奉書上候、以上

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　右村

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　年寄

　　　　　　　　明治四年　　　　　　　　　長谷川孫次郎

　　　　　　　　　　未三月廿七日　　　　庄屋

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　長谷川為治郎

堺縣

　御役所